



金融経済教育だより

令和8年2月17日

清水小学校

第6号

【3年生の実践】

3年生は、総合的な学習の時間「今治の農産物を調べよう」では、地域のいちご農園「しまなみいちご園」と「さいさいきて屋」を見学させていただきました。しまなみいちご園では、大きなビニールハウスの中で、「おいCベリー」「紅ほっぺ」「さちのか」など、様々な種類のいちごがたくさん育てられていました。生産者の方から水やりや温度管理などは、コンピューターを使って管理されていることや、ハチを用いて受粉させていることを伺いました。しかし、「機械に頼るだけでなく、人間の目で確かめることが大切だ」ということを教えていただきました。また、さいさいきて屋では、店内を見学させていただきました。お店の方の話を聞き、さいさいきて屋では、お客様のために様々な工夫や努力をされていることに気付きました。これらの見学を通して、子どもたちは、自分たちの暮らしと地域のつながりを理解することができました。



【児童の感想】

- いちご園で働いている人は、おいしいいちごになるようにいろいろな工夫をしていることが分かりました。いちごを育てるために、ハチを使っているのもびっくりしました。おいしいいちごの見分け方やいちごの種類なども教えてもらいました。また今度、食べに行ってみたいです。
- さいさいきて屋には、今治産の商品がたくさんあってびっくりしました。バナナは外国産だそうです。さいさいきて屋には、平日でお客さんが 2000 人、土日で 3000 人も来るそうです。とても人気なんだなと思いました。

【特別活動「ありがとう集会」の取組】

清水小学校を支えてくださっている方々をお招きして、日頃の感謝の気持ちを伝える集会をしました。お忙しい中、調理員さん、図書ボランティアの方々、学校司書さん、ICT支援員さん、清水駐在所のお巡りさん、茶道クラブのお茶の先生、ハート相談員さんがご来校くださいました。みんなで「ありがとうの花」を歌ったり、お一人お一人に感謝状をお渡ししたりして、心を込めて感謝の気持ちを伝えました。また、参加者の方から、どういいう思いで関わってくださっているのかもお伺いすることもでき、心温まる交流の時間となりました。



【児童の感想】

- みんなが喜んでくれて、わたしもうれしくなりました。「ありがとう」を言うと、心が温かになりました。(低学年)
- いつも、みんなの安全や心、笑顔を守ってくれてありがとうございます。わたしが今日気付いたことは、人に感謝を伝えると、みんなが笑顔になるんだなということです。(中学年)
- 陰で私たちを支えてくださっている方々がいるおかげで、楽しい学校生活が送れていることに気が付きました。ぼくも、みなさんと同じように優しく、誰かの笑顔のために行動できる人になりたいです。(高学年)